



めもろ議会だより

Memuro Town Assembly information

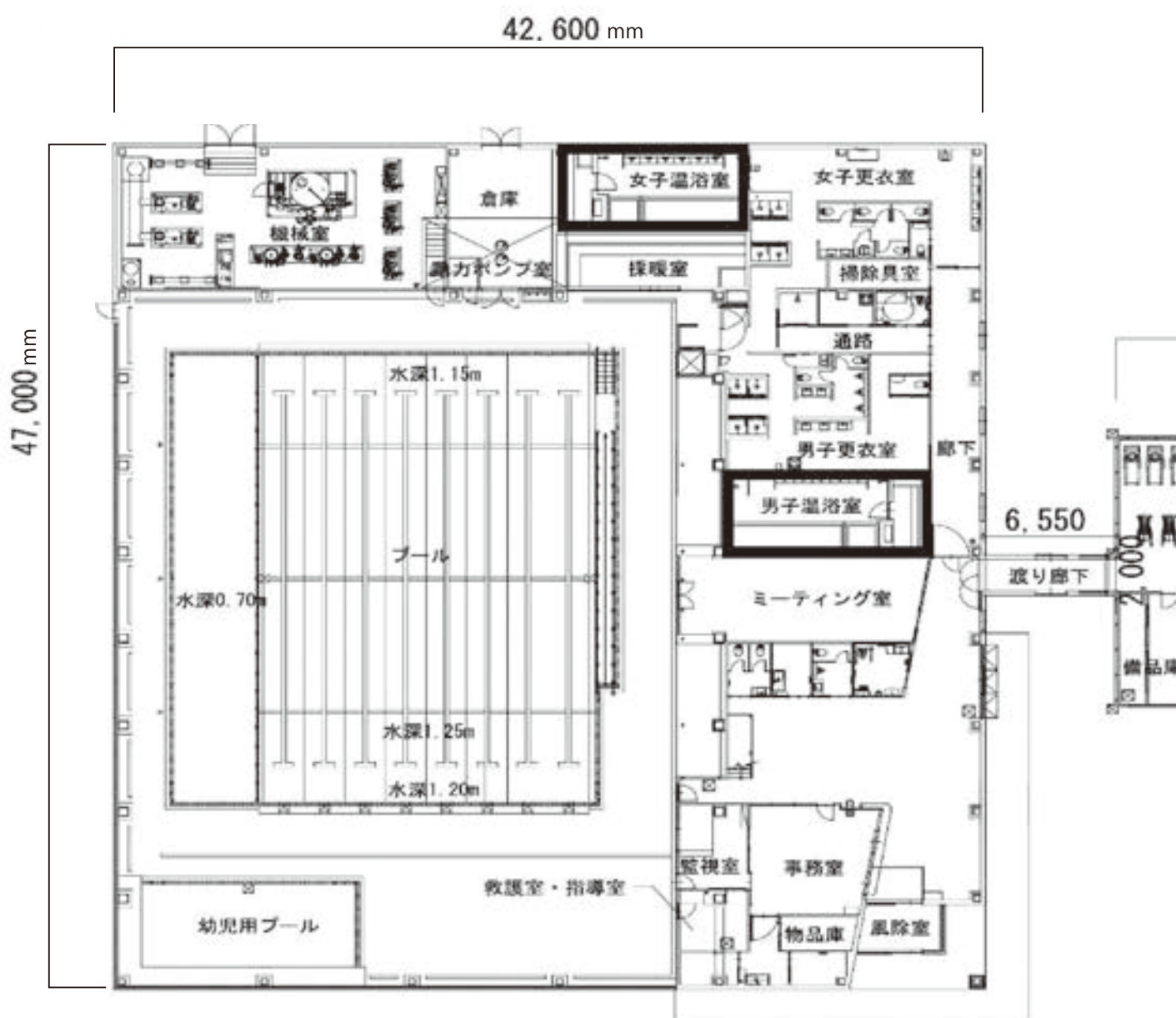


新たな「町営水泳プール」と「温浴施設」を調査しました …… P 2～P 3

どうなる？プール料金？ 併設の温浴施設とは？

11月2日開催の合同委員会で 確認した内容をお知らせします！

温水プール棟の平面図（太枠の部分が温浴施設となる部分です）



温水プール料金【現行】

区分		基本料金
団体 使用料	1団体1回につき	3,910円
	専用使用加算料金 (25mプール1時間につき)	1コース 330円
		全コース 2,800円
個人 使用料	当日券(1人1回につき)	400円
	共通回数券(200円×12枚)	2,000円
	6か月券	10,000円

【改正予定】

基本料金(上限)	
	3,910円
1コース	330円
全コース	2,800円
	400円
回数券(400円×6枚)	2,000円
1か月券	4,000円

温浴施設の利用も可能です

町は、町内の公衆浴場が休業したことから、入浴困難者への公衆衛生上の措置として新嵐山荘への送迎を行ってきましたが、事業承継に進展がなく、公衆浴場は6月末で廃業となりました。

その後、プール等整備事業者から、自主提案施設(利用促進のため、事業者が独自に経費を負担して運営する施設)として設置を予定している温浴施設を、公衆浴場として利用できるよう保健所との協議を進めるとの方針が示されたことから、町は、この方針を受け入れ、必要となる調整を進めていくことを明らかにしました。

湯船も洗い場もサウナも大きなものではありません

男女ともに、温浴施設には湯船、洗い場、サウナが設置されます。

同時に利用できる人数は10人程度と見込まれており、大規模な施設ではありません。

なお、更衣室はプール利用者との併用となります。

プールの料金設定

「改正予定」は11月4日までパブリックコメントが実施されました。その内容もふまえて、今後条例提案が予定されています。

料金は上限額の範囲内で事業者が設定します

プールの利用料金は、町の条例で上限が定められ、その範囲内で事業者が設定することになります。

温浴施設の料金設定

温浴施設部分が公衆浴場として認可を受けた場合は、北海道知事が指定した統制額(上限額：現行12歳以上480円)の範囲内で事業者が設定します。

両方利用する場合の料金設定

プールと温浴施設の両方を利用する場合はそれぞれの料金がかかりますが、割引などのプラン設定を行うかは事業者の判断となります。

包括連携協定をもとに、3学年総合学習の時間でディスカッションを行いました。

「将来の姿を考えることで就職・進学後の目的意識を醸成させる」、「その上で将来住むであろう自治体との関わりを考えることで、地方自治の担い手としての意識を持つ」、「異世代コミュニケーション能力の資質を深める」ことを目的として、「10年後の自分と地域」自治体への参加意識」をテーマとしました。まず全体で白樺高校出身の町職員からの基調講演を聞き、その後4日間かけて1クラスずつ議員とのディスカッションを行いました。



どのように地域と関わるかでは、「お祭りの手伝いをしたい」、「子どもたちにスポーツを教える」、「花壇の整備」、「ゴミ拾いをする」、「高齢の方の家の除雪」など、それぞれの特技を生かした関わりや、子どもや高齢者を支えたいという意見が多く出ていました。



白樺学園高校との連携協定事業開催

ディスカッションでは、10年後「どんな仕事をしているか、どこに住んでいるか」、「家族や結婚は」、「どんなものが流行っているか、商品が開発されているか」、「住んでいる地域にあったらいいと思うもの」、「住んでいるところとどのような関わり合いを持っていたいか」について、意見を出し合いました。

地域にあったらいいと思うものでは、「ショッピングモールやテーマパーク」、「娯楽施設やカフェなどの飲食店」、などがあった他に「大きな病院」、「専門学校」など、生活や進学に関わる施設を望む意見もありました。



生徒のみなさんからは「10年後の自分の姿を想像することで、目標が具体的に変わった」、「グループで話すことでいろいろな意見が聞けてよかった」といった意見が出されていました。

議会にとっても、若い世代の考えを聞く貴重な機会となり、議員それぞれも気づきが多く得られた時間となりました。

議会では今年度、外部評価手法を用いた事業評価を行っていますが、生徒には事前事後にアンケートを行っており、事業目的が達成されているかなど、検証していきます。

議会運営委員会

第11回 10月3日(月)
第12回 10月18日(火)
多様な議員のなり手

議員研修会のワークショップで出された意見を整理し、課題と今後の取組みに係る提案を整理しました。

9月定例会議振り返り

議員から提出された事項を整理しました。

①町営水泳プール整備事業に係る調査は、合同委員会(11/2開催)において実施。

②今後の病院改修、新嵐山活用計画の見直しは、所管委員会での調査とする。

③決算審査の意義等の確認については、次年度以降の研修計画策定に検討する。

外部評価について

10月に実施した白樺高校との連携協定事業を終えたことから、外部評価シートを用いて整理をします。

評価内容を全議員で協議し、今後の事業改善につなげていきます。



総務経済常任委員会

第10回 10月11日(火)
第11回 10月26日(水)

「公衆浴場」について

担当課から、現在建替え中の町営水泳プール指定管理受託事業者が、施設内の温浴施設部分の「公衆浴場営業許可」取得に向け準備を進めており、許可取得後は町の要綱に則り必要な補助を行うとの説明がありました。

委員からは、プール利用料金設定や指定管理に関わる事業区分、町からの補助対象範囲などについて質疑があり、その後の自由討議では関係する複数課での課題整理がまだ十分ではないとの指摘があり、継続調査を行なうことを確認しました。



「新嵐山スカイパーク」について

「新嵐山スカイパーク活用計画」の見直しに至った背景や、無作為抽出による委員構成での検討会議の設置、今後のスケジュール等について説明がありました。

委員からは検討会議で重視するテーマや、無作為抽出の対象年齢、町民ファシリテーターの活用など、検討会議の設置について質疑がありました。

新嵐山スカイパークの活用は今年度委員会が重点的に取り組む政策課題でもあるため、10月に実施したアンケート調査の結果等も踏まえ、今後は委員会の総括に向けた議論を進めます。



厚生文教常任委員会

第12回 10月7日(金)
第13回 10月27日(木)

新型コロナウイルス間違った接種の発生について

9月におきた、新型コロナウイルスワクチン間違い接種について調査を行いました。

原因・今後の対応策などの説明を受けたのち、質疑が行われました。

委員からは、「再発防止に向けて、町が留意すべき重要項目は何か」などの質疑があり、「日常業務における、いっそうの情報共有を徹底していく」との答弁がありました。

町民の生命や健康にかかわる重大な案件であり、今後は改めて「一つ一つの手続きを丁寧に正確に履行できよう努めていく」ことが確認されました。



町内関連施設視察

10月7日、所管する町内関連施設の現状及び、現場の取り組みを調査することを目的に視察を行いました。

今回は放課後等デイサービス「シーグラス」、「地域包括支援センター」、「給食センター」、「および、教育支援センター「ゆうゆう」を訪れました。いずれの施設も、町内の福祉・教育には欠くことのできない重要な取組を担っており、それぞれの施設において、利用者目線の細やかな取り組みや、課題について意見交換を実施しました。

厚生文教常任委員会 視察調査

10月4日、先進地視察として、当別町を訪問しました。

当別町では、道内でも先駆的に小中一貫教育に取り組んでおり、今年の4月からは、施設一体型の義務教育学校(とうべつ学園)を開校しています。今回は(第5期)芽室町総合計画後期実施計画において「検討を進める」とされている小中一貫教育の取り組みを学び、今後の議論の一助にすべく、視察を行いました。



町内児童・生徒の「学力向上」という明確な目的を掲げ、9年ほど前より小中一貫教育を進めてきた経緯について、丁寧な説明をいただきました。地域住民を巻き込んで、一つ一つ積み上げてきた取り組みは、不登校の大きな原因の一つとされる「中一ギャップ」の解消のみならず、切れ目のない教育を行うことによる、安定した学習環境を実現することにより、近年では取り組みの効果も確認できるとのことでした。



また、午後からは、町内の福祉事業を担っている、「社会福祉法人ゆうゆう」にて、放課後等デイサービスや、グループホームの運営、ボランティアセンター設立運営などの取り組み内容について視察を行いました。誰もが安心して暮らせる「ひとづくり」「まちづくり」を目指して実践を続け、現在では、近隣町村からの福祉ニーズにも応える取り組みを行っていました。

限られた時間ではありましたが、密度の濃い研修となりました。今後の芽室町の教育・福祉の充実に向けたさらなる議論の糧となる、よい機会となりました。

議員研修会

10月5日に佐藤淳青森大学社会学部教授を講師としてお招きし、議員会主催の研修会を実施しました。

第1部は、「町民の声」を「形」にするための「議員間討議」から「政策形成サイクル」への理論と手法を、芽室町議会全体のスキルとして定着させることを目的とした講義、第2部では、講義を踏まえた即実践として、



『多様な議員のなり手』を増やすには「テーマとした議員間でのワークショップを行い、課題の抽出などを実施しました。

実施後の成果報告では、「心理学の視点から、議論がすれ違わない対話の重要性を再認識した」「議会の存在意義が集合知の発揮であることを再確認できた」「議員改選ごとに繰り返し学ぶべきなどの声がありました。今後も町民の福祉の向上のために、議会、議員の資質向上に努めます。



10月臨時会議を開催



10月26日(水)に臨時会議を開催しました。
「情報セキュリティ対策機器購入変更契約締結の件」は原案のとおり可決されました。
また、「令和4年度芽室町一般会計補正予算(第8号)」は予算決算特別委員会に付託して審議された後、原案のとおり可決されました。

審議した議案と各議員の賛否

※早苗豊議長は表決には加わりません。

種 類	議 員 名															議 決 日		
	議 案 名	黒田 栄継	中田智恵子	橋本 和仁	堀切 忠	渡辺洋一郎	梶澤 幸治	立川 美穂	中村 和宏	鈴木 健充	寺町 平一	正村紀美子	柴田 正博	西尾 一則	常通 直人		審議結果	
議案	情報セキュリティ対策機器購入変更契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	10/26
議案	令和4年度芽室町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

10月補正予算

一般会計総額は139億2,229万4千円に

一般会計

項目	補正額	主な事業
総務費	78,632千円	ふるさと納税特典贈呈
民生費	8,520千円	高齢者等冬の生活特例支援
衛生費	221,724千円	物価高騰対策
商工費	2,760千円	新嵐山スカイパーク運営支援
土木費	29,125千円	街灯維持管理
教育費	0千円	
諸支出金	50,000千円	公共施設整備基金積立金
職員費	515千円	物価高騰対策事務
予備費	91,320千円	
災害復旧費	5,500千円	町営牧場施設
歳出合計	488,096千円	

令和4年9月定例会議 一般質問

町政を問う 6人が登壇 一般質問

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。
年4回開催される定例会議(6月9月、12月、3月)で一般質問することが出来ます。



手島 旭 町長



程野 仁 教育長



正村 紀美子 議員



渡辺 洋一郎 議員

- ① 新嵐山改革の見直しと今後の見直しについては？
- ② 指定管理者制度によるリスク分担の考え方は？
- ③ 「公の施設」にかかる受益と負担のあり方は？



手島 町長

- ① 赤字状況の経営改善は課題であり、活用計画の見直しも必用です。また、指定管理料の積算方法は、事業者と町の負担を明確にして見直しを図ります。
- ② 負担割合、条件など、あらためて検証すべき時期にきていると認識しています。
- ③ 3区分の公共施設ごとに、利用目的なども考慮して適正な負担を検討します。

一般質問を終えて
正村 紀美子

新嵐山改革の今後の展望と主に住民が利用する「公の施設」の使用料のあり方について質問をしました。いずれも町民の福祉増進を目的とするテーマであり、2期目にあたっての町長の公約をどのように実現していくのか、今後の展望を伺いました。
新嵐山改革は「活用計画の見直しの中で検討する」、使用料の基本方針については「課題認識をもっている」と具体的対応は先送りされたので、今後も引き続き議会で議論を続けます。町は町民ニーズに対応するため、さまざまな施設を設置しサービスを提供していますが、観光施設や体育施設などは民間にも類似するサービスがあり、持続可能なまちづくりを進めるためにはなを選択するのか、今後は決断していくことも必要だと考えます。

- ① 子育て世代に対する情報の発信・共有の展望は？
- ② 児童虐待対応に関する展望は？
- ③ 疾病の早期発見・治療のため、子育て世帯の経済的負担軽減を図る考えは？



手島 町長

- ① 町ホームページ、子育て支援センターげんきなどにより、引き続き進めます。
- ② 関係者・関係機関と町との信頼関係をさらに高め、「あらゆる形態の差別や暴力、虐待等を受けず、放任されないこと」を保障するための役割を果たしていきます。
- ③ 高校生までの助成対象拡大を早期に実現するため、財源確保の課題に取り組みます。

一般質問を終えて
渡辺 洋一郎

「子育て世代に対する情報発信の工夫と今後の支援策」では、子育て応援アプリの導入や子育てに特化したウェブサイトの作成を提案しました。生まれてくる赤ちゃんに出生祝い品を送る事業の実施は、町の魅力発信にもつながるものと考えて具体的に提案しました。
「児童虐待」は、昨年度12件、今年度は8月までに6件対応とのこと。心理的虐待が多い傾向で小学生が1番多い状況であり、昨年度作成した「虐待対応の手引き」のさらなる活用を提案しました。
「こども医療費助成の対象拡大」では、安心して医療にアクセスできる環境づくりが疾病の重症化予防、子どもの命、健康に繋がること、子育て世帯への経済的支援にも繋がることから、早期実現に向けて取組みたいと思います。

- ① 新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策の検証はしているか？
- ② 検査キットの配布や検査費用の助成を行うべき。
- ③ 自宅療養者への独自の支援体制(相談・サポート)を構築すべき。



堀切 忠 議員

- ① 予防活動、拡大防止策、その他ソフト面での対策も含めて、適切かつタイムリーな取り組みを行ってきたと検証しています。
- ② 現時点では、助成が効果的かつ優先性が高い対策とは考えていません。
- ③ 管内市町村の連携強化などによる対応が、効果的かつ現実的と考えています。



手島 町長

一般質問を終えて
堀切 忠

新型コロナウイルス感染症の第7波は、全国的に感染者が急増し、7月から9月の3ヶ月間で約1万3千人の方が亡くなり、芽室町も例外ではなく、今年に入ってから9月までで2千人以上の方が感染しました。新型コロナウイルス感染症対策に関する一般質問は、これで5度目となります。一貫して検査の重要性を指摘してまいりました。いつでも、誰でも無料で検査が受けられる「体制が必要」と考えます。政府は、昨年8月から軽症者・無症状者は自宅療養とし、今年9月からは自己検査・申告、療養期間の短縮、外出自粛の緩和等により、保健所・医療体制の逼迫を回避しようとしています。が、今やるべきことは、保健所や医療機関の体制強化・支援ではないでしょうか。

- ① 農業現場における主たる課題とその解決策への見解は？
- ② 「農業DX(デジタル変革)構想」の実現に向けた展望は？
- ③ 「芽室町地球温暖化防止実行計画」の策定に向けた展望は？
- ④ 「公共施設への再生エネルギー導入計画確立」に向けた展望は？



梶澤幸治 議員

- ① 担い手確保を最大の課題として、芽室町農業再生協議会に「担い手部会」を設置し、具体的な取り組みを検討していく考えです。
- ② 農業者のニーズ把握を丁寧に行い、速やかに取り組むを実行する考えです。
- ③ 計画策定で、町民の役割などを明確に「ゼロカーボンシティ宣言」に向かいます。
- ④ 再生可能エネルギーを活用するシステム構築などの調査研究を進めます。



手島 町長

一般質問を終えて
梶澤 幸治

町長は2期目の選挙公約として、農業や医療福祉、教育などを幅広い分野を網羅した7つの柱と66の公約を掲げて当選されました。新型コロナウイルス感染症対策や産業・経済への対応をはじめ、未来を担うひとづくりと子育て支援、保健・医療・福祉の基盤整備、災害に強いまちづくりなど、公約の実現に向かって職員と一丸となり、リーダーシップを発揮されることを期待しています。今後、地域で育まれてきた資源やこれまでのまちづくりの成果等の地域特性を最大限に生かし、芽室町らしいまちづくりを進めて行くことが重要と考えます。町民の皆様と共に地域への愛着と連帯感を持ちながら、まちづくりを進められることを願います。

- ① がん対策の成果と今後の取組みは？
- ② がん患者の身体的・精神的苦痛の緩和のために助成制度を創設しないのか？
- ③ がん患者が支障なく過ごすために公共施設等の環境整備を行う考えは？



中田智恵子 議員

- ① 本町はがん検診の受診率が著しく低い。ため、対策を検討し、次期の健康づくり計画に盛り込む考えです。
- ② どこまでの支援ができるのかを検討していく考えです。
- ③ がん患者の方のプライバシーに配慮した上で、意見聴取しながら検討します。



手島 町長

一般質問を終えて
中田 智恵子

がんは生涯で2人に1人がかかる「国民病」とも言われています。がんから命を守るには予防と早期発見が大変重要です。積極的にがん検診を受診し、体調管理に気をつけ、医療技術が今のままでも治療率を6割から8割以上まで向上させられるそうですが、検診受診率の向上が大きな課題となっています。また、がん医療の進歩により治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加しているため、外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するケアに対しては、尊厳を持つて安心して暮らせる社会の構築に必要なものだと考えます。今後の検討状況を注視してまいりたいと思います。

- ① 保育施設における「使用済みおむつ」の持ち帰りを廃止すべき。
- ② 芽室町不登校支援システムの課題は何か？
- ③ HSC、起立性調節障害、感覚過敏等を要因とする他者の理解を得難い個別の困りごとを持つ子どもたちへの配慮はどのようにするか？



立川美穂 議員

- ① 廃止の方向性も含めて、町内の統一した取扱いに向け、各施設との協議を進めます。
- ② 運用1年目であり、定着と推進を図ることが課題です。
- ③ 保護者を含むケース会議で、専門家の協力を得ながら、芽室町多様な学び支援計画に位置付け、進捗管理しています。



程野 教育長



手島 町長

一般質問を終えて
立川 美穂

4年前にも使用済みおむつの課題提起を行いました。この間、コロナ禍をきっかけに持ち帰りを廃止した自治体が多数あるなか、本町がようやく課題認識してくれたことを評価します。おむつの処理に限らず保育現場の困りごとは各施設によって異なります。これを機に改めて保育現場に出向き丁寧なニーズ聴取を進めてほしいと考えます。不登校状態にいるお子さんの保護者からは、「子どもが学校に行けなくなった際に利用できる支援策の存在を知らずにいた」と同じ、まだまだ町の支援体制について周知が足りていない状況があり、まずは情報提供と理解促進が必要だと考えました。理解されにくい困りごとを持つ子への合理的配慮についても、まずは「違いを認めあう」ことができて初めて必要な支援が行えるのだと考えます。

議会白書

令和4年10月 延べ21時間56分活動しました！

会 議 名			日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
本 会 議	10 月 臨 時 会 議		10月26日 9:30～10:27	0:44	0:09	1. 情報セキュリティ対策機器購入変更契約締結の件 2. 令和4年度芽室町一般会計補正予算(第8号)	2	(118)
	常 任 委 員 会	総 務 部	第10回	10月11日 9:30～10:30	0:08	0:52	1. 公衆浴場について 2. 新嵐山スカイパークについて 他	0
第11回			10月26日 10:45～12:03	0:03	1:15	1. 農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業について 2. 地方公務員法の改正による職員の定年延長について 他	1	(118)
厚 生 部		第12回	10月7日 9:30～14:00	2:57	0:33	1. 厚生文教常任委員会所管施設調査について 2. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について 他	0	8
		第13回	10月27日 9:30～10:16	0:02	0:44	1. 令和3年度指定管理者評価結果について 2. 地域包括支援センターの外部委託中間報告について	0	18
総務経済・厚生文教 常任委員会合同委員会		第3回	10月5日 9:30～10:59	0:14	1:15	1. 物価高騰対策について	1	29
議 会 運 営 委 員 会		第11回	10月3日 9:30～11:30	0:15	1:45	1. 議会だより10月号の編集について 2. 議会だより11月号の編集企画について 他	0	4
		第12回	10月18日 9:30～10:07	0:05	0:42	1. 令和4年芽室町議会定例会10月臨時会議の運営について 2. 第1回議会モニター会議開催要領案について	0	5
予算決算特別委員会		第8回	10月26日 9:44～10:25	0:00	0:41	1. 令和4年度芽室町一般会計補正予算の審査について	2	(118)
議会広報編集企画会議		第5回	10月27日 10:30～11:00	0:00	0:30	1. 議会だより10月号の校正について 2. 議会だより11月号の編集企画について		
小 計			12:54	4:28	8:26		計6	平均48.4
厚 生 文 教 常 任 委 員 会 所 管 事 務 調 査			10月4日	1:00	5:30	(視察先：当別町) ・学校配置計画を含めた将来的な教育環境の整備について ・障がい者福祉事業の今後の課題解決の方策について		※
白樺学園高校と芽室町議会 包 括 連 携 協 定 事 業			11月12・19・ 20・24・25日	0:00	8:00	テーマ「10年後の自分と地域～自治体への参加意識～」 1部／基調講演 2部／グループワーク		※
小 計			14:30	1:00	13:30			
合 計			27:24	5:28	21:56		計	平均48.4

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示



表紙写真
10月19日から25日まで実施した、白樺学園高校3年生との授業の1コマです。

12月定例会議の御案内

1日	9:30～	初 日
14日	9:30～	一般質問
15日	9:30～	一般質問
21日	9:30～	最 終 日

議会傍聴で
芽室の未来が見える！



インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

■朝夕寒冷を覚える季節になってきました。毎年変化する気象条件の中、収穫作業も終わりに近づきますが、今年の実りの秋の状況はいかがでしたか？
物価高騰が続く社会情勢であり、安全な作業を願っております。

鈴木健亮

■先月、公民館で開催されたコーラスフェスティバルに行ってきました。久しぶりの合唱に感動しました。最後のステージは芽室合唱団の皆さん、素晴らしい歌声でした。良い時間を過ごすことができました。

中村和宏

■白樺学園高校3年生と包括連携事業による「10年後の自分と地域」をテーマにディスカッションが開催されました。「10年後、地元で働きたい」と同席した生徒全員が声を揃えて、感動でした。

梶澤幸治



LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト
▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中